

ヨハネの黙示録 第2章 10節

「あなたがたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたをためすために、あなたがたのうちにある人々を牢に投げ入れようとしている。あなたがたは十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」

乾いた風が吹き抜ける通りで、カラカラと響かせ枯れ葉が舞う。前に、後ろから響く。どこから降りて来たかわからない。通りの激しいところに一瞬の静まりがあり聞こえた音。なんとも心地良い響きである。

春の風に揺れる木立から芽を出し、春の嵐に揺さぶられ、連日の雨に晒され、それでも濃紺の葉を空一杯に広げた。灼熱の陽射しを受け、緑の鮮やかさは失わず、木陰を通る人々の傘となった。そして、秋になり緑の葉は褐色と変わり、一吹き風の風で路上に舞い落ちた。最後にカラカラと響かせ地の塵となる。

一年の命の物語を一葉の葉っぱなりに、忠実に、誠実に、正直に、ありのままの姿をさらけだして地に戻る。それを運んだ風があり、雨があり、陽光があり、時期の気温がある。その運びに感謝するかのようカラカラと最後の響きを聞く者に残す。